記入年月日 平成29年度 事務事業評価表 A ( 平成28年度 の実績評価) 平成 月 14 事業区分 事務事業名 不妊治療費助成事業 新規/継続 継続 事務事業No. 020201000342 政策体系上の位置付け 単独/補助 母神 040401 所属課 総合計画の施策名 0202 子育て支援及び少子化対策 主要事業 机象位 健康推進課 市長マニフェスト 対象外 政策名 らぎのある健康福祉社会づくり 子育て支援及び少子化対策 未来PJ事業 母子グループ 施策名 対象外 グループ 01 子育ての支援体制の充実 系 基本事業名 合併建設計画事業 机象位 財務会計上の位置付け 事業期間 会計 款 事業 一般会計 単年度繰返し ( 平成20 年度~) 細 予算科目 01 04 01 01 03 00 □⇒ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 母子衛生事業 法令根拠 母子保健法 事務事業の現状把握(その1)  $(D_0)$ (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 少子化対策の一環として、不妊治療を受けている夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図ることを目的として、1回の治療につき5万円を限度に1年度あたり1回まで、通算5年間助成する。 申請者の相談対応・申請事務処理・申請者の台帳管理・助成金の支払 い・実績報告書の作成 段 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、 指標値の推移 27年度 28年度 29年度 30年度 21年度 ①手段 (活動量を表す指標) 単位 (担当者の活動内容) 4)活動指標 (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 交付決定者数 人 17.00 16.00 16.00 16.00 16.00 申請者の相談対応・申請事務処理・申請者 0,00 0.00 0.00 0.00 0,00 の台帳管理・助成金の支払い・実績報告書 の作成 0.000.000.000.000.000.00 0.00 0.00 0.00 0.00 29年度 30年度 31年度 **27年度** 28年度 単位 ②対象 (誰、何を対象にしているのか) ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 申請者数 人 17.00 16.00 16.00 16.00 16.00 不妊治療を受けている夫婦 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.000.000.000.000.0027年度 31年度 (この事業によって対象をどう変え 28年度 29年度 30年度 (対象における意図の達成度 ⑥成果指標 単位 るのか) を表す指標) (実績) (実績) (計画) (目標) (目標) 1700 1600 1600 1600 1600 肋成金交付者数 Y 対象者の経済的及び精神的負担の軽減を図 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 る。 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度 期間限定 (3)投入量(事業費)の推移 (実績) (計画) (目標) (目標) 総投入量 国庫支出金 O 千円  $\cap$  $\cap$  $\cap$ 0  $\circ$ 県支出金 千円  $\overline{\bigcirc}$  $\overline{\phantom{a}}$  $\cap$  $\overline{\phantom{a}}$  $\overline{C}$ 事 千円  $\cap$  $\cap$  $\cap$  $\cap$  $\cap$ O 投 源 地方債 使用料•手数料 千円 0 0 0 0 訳 その他 千円 0 O 0 O  $\overline{C}$ O 千円 850 800 800 - 般財源 800 800 800 事業費計(A) 千円 850 800 800 800 800 800 2.00人 正規職員従事人数 3,00/ 2.00) 2.00) 2.00) 量 件 述べ業務時間 問部 30,00 30,00 30,00 30,00 30,00 人件費計(B) 千円 87 87 89 87 87 887 タルコスト(A)+(B) 千円 937 887 887 889 28年度事業費 実績(千円) 29年度事業費 予算(千円) 19 負担金補助及び交付金 19 負担金補助及び交付金  $\sigma$ 内 訴 800 800 (4) 当該年度の実施内容 29年度の事業内容 30年度の事業内容 31年度の事業内容 ※下記に該当する事業は、年 度ごとに事業内容を記入する 主要事業 • 市長マニフェスト · 未来PJ事業 • 合併建設計画事業

10   10   10   10   10   10   10   10	事務事業名		費助成事業	事務事業No.	20201000342	所属課	健康推進課	
回位の日本の経過である。 本語では、不可能の関係を関していている。 では、中国との特別を成立している。 では、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国とのでは、中国には、中国とのでは、中国には、中国には、中国には、中国には、中国には、中国には、中国には、中国に				たのか? 関始時期あ	ろいけら年前と比べてどう	変わったのか?		
(6) この事業事業に対して関係者(住民、観光、異常的後名、利用制能名)からためる意思や実践が残けられているか?	平成20年3.	月議会の際、不	妊治療費補助についての一般質問に関	重し、平成20年度に	不妊治療費の一部を助成す	る補助制度を創		
(550) 2 四回の事業単層問目がする必要・必要の対象が改善。	事業開始。助成	額については5	5万円を限度に年1回、通算5年間助成	と決定した。開始時期の	と比べ、申請者、交付者共	はに増加している	Š.	
(500) 2 2 神田の脚   本原刊は東京の名の								
(500) 2 2 神田の脚   本原刊は東京の名の	(0) = 0 = 15 = 1	41-11	* / LCC = * A = * # # # # # # # # # # # # # # # # # #	(*) +>   \( + \tau = 1		2		
(2) 前回の事務事業所面に対する改革・改善の具体的的音  (2) 計画の事務事業所面に対する改革・改善の具体的的音  (3) 数数は関与の定量性 (この事務事業の時間に対象があると思うとグラクを受することが要性に対しいているの?)  (3) 数数は関与の定量性 (この事務事業の時間に対象があると思うとグラクを受することが要性に対しいている。  (4) 数数の場合 (選挙を目)上付金条地域のあからな表現の変力が監査を入して、重なる事態から、成場体系とも指しついているので、かが制力することは表数であるから、変更の上が減してよとして行っている事業(あり、政策体系)と対しているので、かが制力することは表数であるから、変更の上が減してはとして行っているが表現ないが多数が関連的しているものであるため、向上金地域ない、  (4) 数数の場合 (選挙を目)上付金条地域のあからな表現の表現の表現を必要が表現を必要が関連の機能しているものであるため、向上金地域ない、  (4) 数数の場合 (選挙の日)上付金を対したがあると考えられる。  (5) 数数の場合 (選挙の日)に対しまる事態を対している。対しまましてはべ事業事業を制能できたいか?)  (5) 数数の場合 (場別の事態、事務事業を  (4) 数数の事態 (場別の事態、事務事業を  (5) 数数の事態 (場別の事態がありが対しまましてはべ事業事業を制能できたいか?)  (5) 数数の事態 (場別の事態がありが対している。対しまましてはべ事業事業を制能できたいか?)  (6) 数数の事態 (選集の事態を) (関連の事態を) (関連の事態を) (別の事態を) (関連の事態を) (関連の事能を) (関連の事能を) (関連の事能を) (関連の事能を) (関連の事を) ((関連の事を) ((関連の事を) ((関連の事を								
(See) 2 が順の数 * 本原側は事前が態。	7 27 3 3 1 3 1 3 1			文() 並ほの13 13 (3)(2(3))	(90000000000000000000000000000000000000	07C0		
(Seo) 2 推断の題 * 本原側は事料が題。   日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日								
(Seo) 2 推断の題 * 本原側は事料が題。   日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日								
(この) 2、評価の別 ・ 専門以手等時間、	(7)前回の事務事	業評価に対す	る改革・改善の具体的内容					
(この) 2、評価の別 ・ 専門以手等時間、								
(この) 2、評価の別 ・ 専門以手等時間、								
(この) 2、評価の別 ・ 専門以手等時間、	現状維	持						
投資保存との認言性 (この事態無偏の目別中の政策体系に使じつくか?態度することが発展で使じついているの?)   子育で支援及び少子化対策について、経済値ではぴついている。   空立である	30.077.00	., 5						
投資保存との認言性 (この事態無偏の目別中の政策体系に使じつくか?態度することが発展で使じついているの?)   子育で支援及び少子化対策について、経済値ではぴついている。   空立である								
投資保存との認言性 (この事態無偏の目別中の政策体系に使じつくか?態度することが発展で使じついているの?)   子育で支援及び少子化対策について、経済値ではぴついている。   空立である								
おいていている   子育で支援及びゆ子化対策について、経済面で結びついているので   子育で支援及びゆ子化対策の一環として行っているが、関係体系とも結びついているので、市が補助することは受当   子育で支援及びゆ子化対策の一環として行っているが、関係体系とも結びついているので、市が補助することは受当   子育で支援及びゆ子化対策の一環として行っている事業であり、関係体系とも結びついているので、市が補助することは受当   不可の表別上条地(仮えてきを込むを承担あるかが展現の表別生産との経済である。	【See】 2. 評価	の部 *原		<b>海</b> 克 口				
下型である	10							
② 公共関与の妥当性 (などこの事態を形が行わなければならないのか?財金を終入して、達成する目的か?) (宗産委託学堂はその名称)  「学育で支援及グリチ化の関の一環として行っている事業であり、施強体系とも起びついているので、市が特別することは受当である。  ③ 成果の商品会館 (成果を向上させる無知はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?目が原因で誘乗向上が開待できないのか?)  「国上条形がない」 「特別を含めた支援対策を維持して行っていくが、対象者が関られているものであるため、向上余期はない。  4 英連士・林止の成果への影響 (特別事業を通過で表現) 「対象者の経済の負別が指大すると考えられる。 「要要するとの影響との影響との影響との機能と、対象者の経済の自動性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) 「関係事業がない」 「関係事業がない」 「関係事業がない」 「関係のような、関係を向して対している大場に対する経済の支援策として、高級な治療費の負担軽調を図ることから、事業質の削減は含当では不ない。「おいっない」 「対象者の経済では、対象者の経済では、対象者の経済で行っているため、関係の方面を制の支持は、事務事業を削減できないか?」 「大場から支払いまで必要限が収入数と制度で行っているため、関係時間の利益はできないか?」 「大場から支払いまで必要限が収入数と制度で行っているため、実験時間の削減はできないか。」 「大場の支払しての場所である」 「大場の支払しての場所で行っている。」 「特別間の利益に対しても、市ホームページ等で廃却を行っており、公平である。 「「大場の支払の支持をしているがある」 「大場の支払の関係」 「人間のの場合になっての場所を関係」 「人間のの場合にないでき越音を対しても、事務の主国が発生してきており、申請者数・比様者数・出る対象が性 「関切」 「発見し余池あり」 「発見し余池あり」 「発見し余池あり」 「発見し余池あり」 「発見し余池あり」 「発見し余池あり」 「発見のの事業を表別するとで解決すべき課題(集製のの業権・国は、「大場の場合とないできる」 「連携ができる」 「連携ができる」 「連携ができる」 「連携ができる」 「現実・作しの改善 「別域・関係」 「発用・作しの改善 「別域・関係」 「発展・財産・財産・大事・「別域・関係」 「発展・財産・大事・「別域・関係」 「発展・「関係」 「単しのの場合は、「表現のの表書の対象を表現するとで解決すべき課題(集製のの表書の) 「対象を表現するとで解決すべき課題(集製のの表書の) 「対象を表現するとで解決すべき課題(集製のの表書の) 「対象を表現するとで解決すべき課題(集製のの表書の) 「対象を表現するとで解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの解決するとの表現を表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されているように表現されている。 「大場の表現されているように表現されている。 「対しないるとないないるとないないる。 「対しないるないるないないる。 「対しないるないるないないる。 「対しないるないるないるないる。 「対しないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるないるな	B 8±780171	7	   会で古怪乃バルマルが年について   42	文面で紅バヘハアハマ				
学者で支援が少子化対策の一域として行っている事業であり、施業体系とも結びついているので、市が精助することは妥当である。  ② 成果の向上余地(成果を8上させる永端はあるか?成果の脱水本とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が開作できないのか?)  同上余地がない	的になっていてい	ا <u> دوا</u>	「月に又仮以び少士心刈坂にづいて、絟	月回て指ひりいている。				
学者で支援が少子化対策の一域として行っている事業であり、施業体系とも結びついているので、市が精助することは妥当である。  ② 成果の向上余地(成果を8上させる永端はあるか?成果の脱水本とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が開作できないのか?)  同上余地がない	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)							
3 成果の向上条地 (原果各しさらな歌地はあるか? 該乗の接収本権とあるへき本権との差割はないか?	性			行っている事業であり、	施策体系とも結びついて	いるので、市た	が補助することは妥当	
□上条地がない □上条地がない □上条地がない □上条地がない □上条地がない □上条地がない □上条地がない □上条地がないため、特別を各めた支援対策を維続して行っていくが、対象者が限られているものであるため、□上条地はない。 □上条地がある場合 □ 対象者の経済的負担が地大すると考えられる。 □ 対象者の経済的負担が地大すると考えられる。 □ 対象者の経済的負担が地大すると考えられる。 □ が成功ない □ 対象者の経済的自力が大き、事務事業を □ 対象を表現されため、特別を不可である。 □ 国本業性・人性費の自防条性・(類似事業が破別を含むいか?や助疗を主大して延べ業務事業を削減できないか?) □ 対象条性・人性費の自防条性・(課業を下げずに事業費を制能できないか?や助疗を主大して延べ業務事業を削減できないか?) □ 対象条性がない □ 大いから支払いまで必要患り場の人数と特問で行っているため、業務制制の制造はできない。 □ 対象者に対しては、「毎の助政会・接続で行っているため、事務制制の制造はできない。 □ 対象者に対しては、「毎の助政会・接続で行っているため、事務制制の制造はできない。 □ 大いから支払いまで必要患が取るとしていて公本ではないか?登積を持ち合うでいる。中にに対しても、市ホームページ等で周別を行っており、公平である。 □ 中間・公平である。 □ 中間・公・である。 □ 中間・公・である。 □ 中間・公・である。 □ 中間・公・である。 □ 中間・公・である。 □ 中のののののののののののののののののののののののののののののののののののの				こてがさればしてギロにも		知往できたいで *	) () ()	
金須止・休止の成果への影響 (無務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内側は?)   野響有	3 放業の向上が	地 (放果を向	上させる赤地はあるか?成果の現状が準と	るへる水準との差異はな	いか?何か原因で成果何上が	期付でさないのん	(5)	
影響有	向上余地がな	り	知を含めた支援対策を継続して行って	ハくが、対象者が限られ	1ているものであるため <b>、</b>	向上余地はない	١.	
対象者の経済的負担が増大すると考えられる。  「無限事業での病路舎・連絡の可能性 (無限事業や結廃金の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))  「他に手的がある場合)で 類似の事故ないため、統廃合不可である。  「事業費・外件費の削除余地 (既果を下げずに事業費金削除できないか?)  「無理がないため、統廃合不可である。 「事業費・外件費の削除余地 (既果を下げずに事業費金削除できないか?)  「無理の方ない」 「無理の方の性 (事業の方の性 (事業の方の性 (事業の方の性)) 「現産し余地かり」 「対象者に対しては、景の即成金申請時に案内をしてもらっている。 市民に対しても、市ホームページ等で周知を行っており、公平である。  「日本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)							
	有							
(他に手段がある場合)	刈    <u>                                 </u>							
療用がない  ・ 類似事業がないため、純廃合不可である。	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))							
②事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?)の方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 不妊治療を受けている夫婦に対する経済的支援策として、高額な治療費の負担軽減を図ることから、事業費の削減は適当ではない。 「関議余地がない」 中議から支払いまで必要最小限の人数と時間で行っているため、業務時間の削減はできない。 ② 受益機会・費用負担の適正化余地(事業の内容が一部の受益者に備っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・込正になっているか?) 対象者に対しては、県の助成金申請時に案内をしてもらっている。市民に対しても、市ホームページ等で周知を行っており、公平である。 【Plan】 3、評価を課金的技ど今後の方同性(次年度計画と予算への反映) ② 1 次評価者としての評価結果 ③ 1 月直し余地あり 3 効率性 3 複切 月直し余地あり 3 効率性 3 複切 月直し余地あり 3 効率性 3 複切 月直し余地あり 月直し余地あり 1 月直し余地あり 1 月面し余地あり 1 月面し余地あり 1 月面し余地あり 1 月面し余地あり 1 月面し余地あり 1 日的の再設定 1 日の再設定 1 日のの再設定 2 公平性の改善 2 次平性の改善 2 次十・秋上の場合は記入不要) 1 財政・維持 1 方別性の改善 2 次平性の改善 2 次平性の改善 2 次平性の改善 2 次十・秋上の場合は記入不要) 1 財政・維持 1 方別性の改善 2 次十・秋上の場合は記入不要) 2 次半・数単を実現する上で解決すべき課題(望)とその解決策 2 次平性の改善 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 連携ができる 2 連携ができる 2 2 次十・秋上の場合は記入不要 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入不要 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上・秋上の場合は記入できる 2 2 次十・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・秋上・	(他に手段かる		体的な子技、事務事業石					
削減余地がない   中部から支払いまで必要雇小限の人数と時間で行っているため、業務時間の削減は適当ではない。	余地がない   類似事業がないため、統廃合不可である。							
削減余池がない	おの事業費・人件	費の削除余地(	(成果を下げずに事業費を削除できない)	か?やり方を工夫して	近べ業務事業を削減できな	いか?)		
# 自請から支払いまで必要売り傾の人数と時間で行っているため、業務時間の削減はできない。	不妊治療を受けている夫婦に対する経済的支援策として、高額な治療費の負担軽減を図ることから、事業費の削減は適当では							
公正・公平である	性性	<u>.vi</u>		時間で行っているため、	業務時間の削減はできな	٤٠١.		
Plan   3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)								
Plan   3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)	平   公正・公平である   対象者に対しては、県の助成金申請時に案内をしてもらっている。市民に対しても、市ホームページ等で周知を行っており、							
(2) 全体総括 (振り返り、反省点)								
①目的妥当性 通切 □ 見直し余地あり □ 日前し余地あり □ 日前し余地あり □ 日前の一角設定 □ 対率性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	2: :2:::2				の、反省点)			
②有効性 適切 □ 見直し余地あり □ 日的の再設定 □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ 公平性の改善 □ スト □ 別域 維持 □ □ □ 上 □ 原止 □ 休止 ■ 現状維持 □ □ □ 上 □ 原止 □   依	00455W#	- \ <del>\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\</del>						
③効率性 ● 適切 □ 見直し余地あり □ 日前の再設定 □ 対率性の改善 □ 対率性の改善 □ 対率性の改善 □ 対率性の改善 □ 対率性の改善 □ 対域による期待成果 (経了・廃止・休止の場合は記入不要) □ 万人 □ 開減 維持 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □			口目志し会地もり	数共に培加傾向にある。	。 510 続き、 同知を含めた	又抜せしてい	、必安かめる。	
(3) 今後の事業の方向性	③効率性	適切	□ 見直し余地あり 😽					
終了 ■ 継続   改革改善を行う→ (複数回答可)   対率性の改善   公平性の改善   日前の再設定   前滅 維持 増加   向上   前滅 維持 増加   向上   上	4公平性	通切	日 見巨し宗地めり					
終了・廃止・休止の場合は記入不要)	(3) 今後の事業の	方向性	1	***		(4)改革・	改善による期待成果	
□ 廃止 □ 休止 → ■ 現状維持 □ 統廃合ができる □ 連携ができる □ 連携ができる □ 連携ができる □ 連携ができる □ 連携ができる □ ル □ ル □ ル □ ル □ ル □ ル □ ル □ ル □ ル □	□終了	■継続			] 効率性の改善 )			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 A : 継続(現状維持) C:終了、廃止、休止				前効性の改善 [	] 公平性の改善			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  (6)事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果 (1)課長評価 (2)部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価  (2)部長確認後の評価  確認欄  (3) などでは認が必要な場合) ないます。 はいます。 はいます。 ないます。 ないます	□ 廃止		7 ■ 現外維持	i用ロルできる L	」 埋捞かじきる 丿	向	にはず   大道川	
果 持 の (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 (スト削減優先度評価結果 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果						果持		
(6)事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 成果優先度評価結果 ススト削減優先度評価結果 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価								
成果優先度評価結果								
スト削減優先度評価結果						(6)事務事業優先度評価結果		
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項 (1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価						成果優先度評価結果		
(1) 課長評価 (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 課長確認後の評価						コスト削減優勢	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
課長確認後の評価		確認及び改革改	善に向けての指摘事項					
・				(2) 部長確認及び評	価(課長評価により、	C、D判定及び	確認が必要な場合)	
				確認欄				
	Δ .							